



# ドゥーリー小学校

ディストリクト 5 4 日本語/英語デュアルランゲージプログラム(English-Japanese Dual Language Program)についてよく聞かれる質問

## デュアルランゲージプログラムにおける54学区の教育目標はなんですか。

- 54学区は全ての児童・生徒が安全で、良い学校生活を送り、成長していくために、学力向上だけに偏らず、健康面も含め、子どもたちの資質を総合的に育成し、サポートします。
- 54学区は読解と算数の学力向上目標の達成率と実力レベルが、全国トップ10%になります。
- 54学区に通う全ての児童・生徒の読解と算数の評価の格差をなくします。

## デュアルランゲージプログラムの教育目標は何ですか。

- 年齢に応じた日常会話がどちらの言語でも話せる。
- 書くことと話すことを通して両方の言語で年齢相当のコミュニケーションができる。
- 同学年のモノリンガルの児童と同等の学力がつく。
- 異文化に対する理解を深め、共感し、いろいろな場面で表現できる。

## このプログラムで学ぶことの長所はなんですか。

英語を母国語とする児童は、自分の言語を伸ばしていくと同時に日本語を早い段階で学習出来ることです。同様に、日本語を母国語とする児童は、日本語の向上を図る一方、英語の習得ができます。全ての児童は第2言語を学習しながら、アカデミック・スキルを習得し、その上で文化を超えた交流、社会性を養うことができます。バイリンガルの人は両言語を理解するという事で認知における柔軟性があるとの脳科学リサーチの報告があります。

## プログラムに入るための入学基準はなんですか。

5 4 学区内に住んでいるお子さんは入学応募の資格があります。但し、ドゥーリー小学校区域に在住のお子さん、そして既にご兄弟・姉妹がプログラムに在籍されているお子さんが優先されます。

応募者が定員以上の場合はウェイトンリストに名前を載せて、空きを待つことができます。新しくこの地域に引っ越され、幼稚部ではなく、他の学年に編入をご希望の場合は、学年相当の日本語・英語の学力を判断するための作文課題があります。なお、定員を超えている場合は、空き待ちのリストがあります。

このプログラムの特徴である『他の言語に浸かる』という環境で授業を進めていくために、モノリンガルのお子さんの入学は幼稚園と1年生にのみ限られています。英語が第一言語でないお子さんにかんしては、英語力のアセスメントがあり、お子さんに適した学校およびクラスをご紹介します。

**途中でプログラムを辞めたい場合はどうすればよいでしょう。**

2ヶ国語を取得することは時間のかかることです。また、プログラムの定員が限られているために少なくとも1年間続ける事をお願いしています。空きが出た場合は、入学待ちの方にご連絡を致します。一度退出した児童は、再度プログラムに入れるという保障はありません。

**私の子どもは普通のクラスより日本語でも習うため、教科学習が遅れがちになりますか。**

いいえ。ディストリクトのカリキュラムを同じペースで進めていきますのでそのようなことはありません。児童がよく学んでいけるような足場を作り、積極的に授業に参加できる形態の中でそれぞれの言語を学ぶと同時に学習教科を習っていきます。

**外国語を習うためリーディング、作文、算数等の基礎学習が遅れますか。**

いいえ。国のレベルで行われた研究発表をみてみますと、リーディング、作文、算数の学力テストの結果は、デュアルランゲージプログラムの児童が、英語だけを話す児童と比較して、総体的に同じか、又はそれ以上の成績を修めているという報告がでています。54区のデュアルランゲージプログラムの児童も同じような結果をもたらしています。

**私の子どもは毎年同じ児童と学習するのですか。この結果、他の子どもたちと友達になる機会がなくなるのではないですか。**

基本的には、幼稚部から6学年まで毎年同じお子さん達と一緒に学習することになります。但し、他のクラスの児童と友好関係を計るため、デュアルランゲージプログラムの教師とレギュラークラスの教師がパートナーになり、色々な学習活動、遠足、休み時間や他の活動を共に計画します。

**デュアルランゲージプログラムの教師はどのような資格を持っていますか。**

イリノイ州の小学校教員免許とバイリンガル又は、ESLの認定証を保持しています。バイリンガル認定証を取得している教師は、日本語、英語の両国語共に堪能です。ESL認定証の教師は、英語を第二ヶ国語として習う生徒に教える教授法に精通し、英語力もネイティブかそれと同等の力を保持しています。常に効果的な教授法で生徒に教えられるよう、デュアルランゲージ教師同士連絡し、互いに協力し合います。

**読み書きは英語と日本語のどちらの言語を先に習うのですか。**

Balanced literacy approach 方式を採用して、幼稚園から読み・書き・聴解・会話を両方の言語でバランスよく同時に学習します。54学区は、すべての児童が3年生になる頃には、学年相当、またはそれ以上の英語力習得を目標としています。児童はその後学年が上がるにつれて、日英両方の言語を学習、習得してゆきます。

[デュアルランゲージのクラスを見学できますか。又、もう少し詳しい説明はどこに連絡すればいいですか。](#)

現在COVID-19のパンデミックにより54区は保護者の皆様のご見学を見合わせています。各小学校はビデオツアーのリンクがありますので、校長とバーチャル・チャットが可能です。また、申し込みはウェブサイトから行なってください。  
。sd54.org/openenrollment

そのほかのご質問についてはドゥーリー小学校校長のホリー・シュリッカーまでお電話ください（電話：(847)357-6250）。